

平成 29 年 3 月 9 日

## 設備相互利用促進経費申請課題審査手順

大学連携研究設備ネットワーク  
作業部会決定

### I. 概要手順

1. 審査依頼 事務局は、提出された申請書を作業部会員に送付し、審査を依頼
2. 予備審査 事務局は、応募条件を満たしていないと思われる申請課題がある場合、作業部会に諮り、作業部会は応募資格の有無を確定する。
3. 本審査 作業部会員は予備審査を通過した申請課題の審査結果を事務局宛送付
4. 採択 下記手順通りに、順位付け、ボーダーライン設定、配分額決定を行う
5. 通知 審査結果を作業部会員宛連絡、申請者宛連絡  
採択課題と採択金額を協議会委員に連絡

### II. 本審査方法

1. 配分総額と 1 件当たりの申請限度額の決定  
配分総額と 1 件当たりの申請限度額は作業部会の承認を得て決定する。
2. 本審査
  - (1) 投票権  
投票権は作業部会員全員にあるとする。
  - (2) 採点
    - (i) 各作業部会員の属する地域からの申請は採点しない。
    - (ii) 各作業部会員の持ち点を  
$$\text{持ち点} = 5 \text{ 点} \times \text{審査課題数}$$
とし、各課題を 0～10 点で評価する。持ち点はすべて使い切り、各申請課題の評点は整数とする。高得点が高評価に対応する。
    - (iii) 作業部会員は、事務局から送付されたエクセルファイルに評点を記入し、所定の締切日までに事務局に送付する。事務局は採点結果に不備がある場合（持ち点を使い切っていない、使い過ぎ、自地域の採点を行っているなど）、当該作業部会委員に修正を求め、有効な審査結果を集計する。
  - (3) 順位付け  
各申請課題の評点は、講習会申請課題・復活再生申請課題とも  
$$\text{評点} = (\text{審査員の評点の和}) / (\text{審査員数})$$
とする。この評点順に順位付けを行う。評点が同点の場合は、昨年度の学外利用実績

件数の多い機関からの申請を上位とする。さらに、昨年度の学外利用実績も同じである場合は、全年度の学外利用実績件数の多い機関からの申請を上位とする。

(4) ボーダーの確定

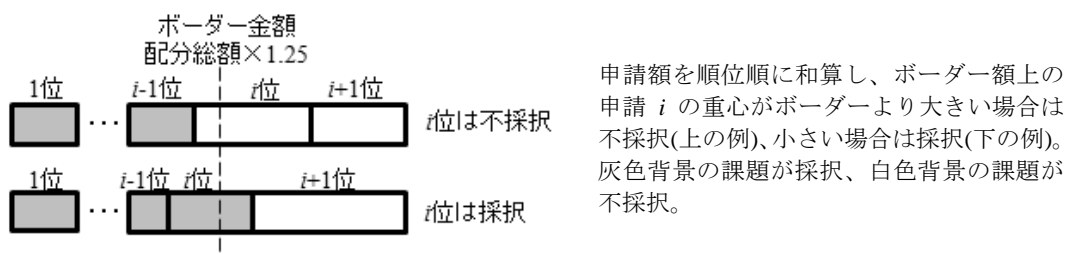
各申請課題順位順に申請金額を積算し、配分総額の1.25倍をボーダーと定義する。ボーダーより上位は採択、ボーダーより下位は不採択とする。ボーダー上の申請課題の採否は以下とする。式と図で表すと以下のようである。

(a)  $1.25 \times \text{ボーダーの課題を含まない申請金額積算} / \text{配分総額}$

$< \text{ボーダーの課題を含む申請金額積算} / \text{配分総額} - 1.25$  のとき不採択

(b)  $1.25 \times \text{ボーダーの課題を含まない申請金額積算} / \text{配分総額}$

$\geq \text{ボーダーの課題を含む申請金額積算} / \text{配分総額} - 1.25$  のとき採択



(5) 配分額の確定

採択課題の申請額総和が配分総額を下回る場合は、全採択課題に対しても申請額通りに配分する。ただし、千円未満は切り捨てる。一方、採択課題の申請額総和が配分総額を上回る場合、申請額に配分率を乗じた金額を配分する。千円未満は切り捨てる。申請  $i$  の配分率  $z_i$  を下記に従って定めるものとする。まず、申請  $i$  の評点  $x_i$  を変数とした 1 次関数

$$\text{配分率 } z_i = ax_i + b$$

で与えられると仮定する。課題  $i$  の配分額は、 $y_i$  を申請  $i$  の申請額とし、最終的な千円未満の切り捨て効果を無視すると  $y_i z_i$  である。傾き  $a$  と  $y$  切片  $b$  は、2つの条件

(i) 1位の配分率  $z_1 = 1.0$

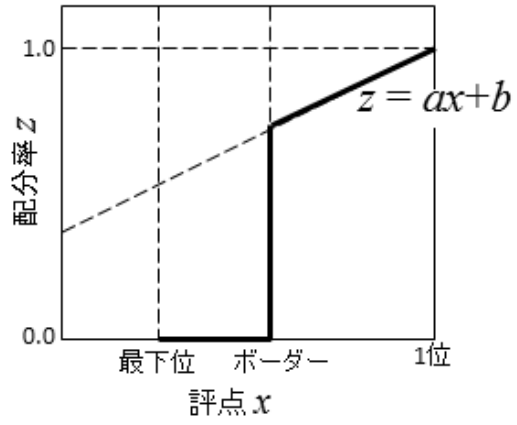
(ii) 1位から  $n$  位 ( $n$  は採択課題数) の配分和が配分総額  $A$  と一致する

で決定できるとする。これにより

$$a = \frac{\sum_{i=1}^n y_i - A}{x_1 \sum_{i=1}^n y_i - \sum_{i=1}^n x_i y_i} \quad b = \frac{Ax_1 - \sum_{i=1}^n x_i y_i}{x_1 \sum_{i=1}^n y_i - \sum_{i=1}^n x_i y_i}$$

と記述できる。ただし、 $x_1$  は 1 位の評点である。このグラフを次ページに記す。

(6) 上記の(4)~(5)の過程は明確に一価的であろうが、何らかの想定外の事情が生じた場合の判断は事務局に一任する。



申請  $i$  の配分率 (= 配分額 / 申請額)  $z_i$  を評点  $x_i$  の一次関数で表す。傾き  $a$  と  $y$  切片  $b$  は、2つの条件

- (i) 1位の配分率  $z_1 = 1.0$
- (ii) 1位から  $n$  位 ( $n$  は採択課題数) の配分和が配分総額  $A$  と一致する

を仮定して一意的に定める。